

津島市のコミュニティ・スクール課題チェックリスト結果（2024年1月）

	学校と地域評価の比較から見える重点課題と意識のズレ	地域	学校	★差異大の項目	2024年1月末に、各学校や、地域コーディネーター等を実施した「コミュニティ・スクール評価」の比較したものを示しました。 コミュニティ・スクールの各小中学校の現状や協働活動状況、連携状況、理解度、地域の認知度などについて、学校側・地域側が、どんな把握をしているかを表したものです。認識のズレは当然あるものですが、今回の評価の目的は、学校・地域双方のズレの要因や理由を話し合い、双方が同じ認識に立ち、今後の課題を共有して、より良いものにしていただきたいと言う目的で行いました。市内の地域学校協働活動も9年が経過し、コミュニティ・スクールも5～2年経過しました。今後は、コミュニティ・スクール（地域とともにある学校づくり＝学校支援）に取り組みながら、次は、スクール・コミュニティづくり（学校を核とした地域づくり＝地域づくり）に徐々にシフトしながら、進める時期にもなってきています。
1	あなたの学校のCSは、「学校支援」に留まっていませんか	3.1	3.3		
2	学校は「地域から十分意見をもらっている」雰囲気がありますか	3.6	3.5		
3	学校は「常に地域と目標を共有して」取組を考え、行われていますか	3.6	3.0	★	
4	様々な「学校課題」「地域課題」がCSの協議題として挙がっていますか	3.5	3.0	★	
5	あなたの学校のCS・協働活動は、人が入れ替わっても「持続可能な仕組み」ですか	2.8	3.3	★◎取組重要課題	
6	あなたの学校のCS・協働活動により、人々の「当事者意識」は高まっていますか	3.0	3.0		
7	何か問題が発生した時、保護者や地域住民が「学校の味方、代弁者」となってくれる雰囲気ですか	3.5	3.7		
8	何のためにCSを行っているのか、関係者間（学校・保護者・生徒・地域・行政）で理解されていますか	2.8	3.3	★	
9	教職員は自分の学校のCSについて正しく理解していますか	2.2	2.5	◎取組重要課題	
10	子どもたちの生き生き活動する姿が、市内の人々に日常的に認知されていますか	3.3	3.3		
	評価平均	31.3	32.0		